

レーザー光や超音波を使って物を視る、物を認識する

ロボットとレーザー光を用いて物体の立体形状や光沢などを測理、そのデータをコンピュータグラフィック（CG）技術に応用する研究をしています。また、超音波やカメラの画像と人工知能技術を組み合わせて水中や夜間などで用いる超音波ビジョンや車載搭載カメラを用いた自動交通標識認識の研究を行っています。



自動運転の為の自動交通標識認識

キーワード レーザー光、計測、認識、人工知能応用

分野 センシング工学、データ解析